

福島県立郡山北工業高等学校



同窓会報

平成19年2月22日

第57号

2007

発行所 / 〒963-8052

福島県郡山市八山田二丁目224番

福島県立郡山北工業高等学校同窓会

☎ 024 (932) 1199

FAX 024 (935) 9849

発行者 / 滝田 孝太郎

編集者 / 田母神三知夫

発行部数 / 18,500部



郡山北工HP <http://www.koriyamakita-th.fks.ed.jp/>

CONTENTS

会長あいさつ	2
校長あいさつ、新会員のことば	3
平成18年度同窓会定期総会報告	4
支部だより	5~6
特集 ソフトボール部選抜大会準優勝報告	7
母校近況 (生徒会だより、部活動大会成績報告)	8
母校近況(進路状況)	9
平成17年度決算報告・会務報告	10
平成18年度同窓会役員名簿・一般寄付者名	11
総会風景・30周年記念式典関係 ゴルフコンペ・事務局だより	12

同窓会定期総会開催のお知らせ

■平成19年度定期総会を下記のように開催いたします。

- 日 時 / 6月23日(土) ●午後5時00分より 総会
- 午後5時50分より 懇親会

- 場 所 / 郡山ビューホテル アネックス 郡山市中町10-10 ☎024-939-1111

- 会 費 / 5,000円(平成18年度卒業生は3,000円)

※詳細については同窓会事務局へお問い合わせください。

同窓会事務局(郡山北工内) TEL.(024)932-1199 FAX.(024)935-9849

※参加は会員であれば自由です。同窓生、同級生、会社の同僚等お誘いあわせのうえ多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。
(参加希望者は、同封された払込取扱票の通信欄の総会会費に○をつけて会費を納入ください。)

東京支部総会

- 日 時 / 平成19年6月2日(土) 16:00
- 場 所 / 上野 精養軒

日立支部総会

- 日 時 / 平成19年6月9日(土)
- 場 所 / 未定

水戸支部総会

- 日 時 / 平成19年11月24日(土)
- 場 所 / 未定

会長あいさつ

同窓会会長 滝田 孝太郎



平成十九年の新しい年を迎え同窓会会員皆様の御健勝を心よりお慶び申し上げます。常日頃より同窓会に御協力を頂きまして感謝を申し上げます。

昨年は北工創立三十周年を迎え、十二月十六日、本校第一体育館にて記念式典が行なわれました。同日、郡山ビューホテル四階「パラシオ」に於いて、衆議院議員、根本匠様はじめ、多数のご来賓を迎え祝賀会が開催されました。記念行事としては同日、本校体育館に於いて記念講演会が行なわれました。講師は小菅富士雄校長先生の友人でもある高橋隆男先生（東海大学教授、工学博士）、演題は「宇宙への誘い」いつまでも夢をでした。本当に有難うございました。

十二月二十四日には郡山市公会堂に於いて吹奏楽部定期演奏会が開催されました。

記念事業としては、本校第一体育館に校歌プレートの新設（体育館ステージ側上部に取り付け、遠くからでもはっきり見える様に成りました）、同窓会館修繕、校内ネットワーク整備事業、トレーニングセンターへの通路工事、吹奏楽部定期演奏会の補助、創立三十周年記念誌「北の駿馬たち」の発行、創立三十周年記念品作成、同窓会名簿の発行を行いました。

北工三十年を振り返ると、北工一期生が昭和34年度生まれ、旧郡工一期生が昭和四年度生まれ、そして旧西工一期生が昭和22年度生まれです。順序よく整理すると、昭和初期の四年の秋に、アメリカで始まった大恐慌が急速に全世界に広がり、日本経済も未曾有の危機に立たされ、昭和5年だけで失業者が三百万人に達しました。その後、満州事

変の勃発（昭和六年九月）、昭和十二年七月に日中戦争の勃発、昭和十六年十二月八日に真珠湾攻撃を契機として大東亜戦争が勃発しました。そして、昭和二十年八月十五日に終戦となったが、おそらく郡工一期生は、小学校高学年より勤労奉仕、学徒動員、軍需工場で働らく等、勉強するにも出来なかつたのではないかと思います。終戦後は軍需産業より平和産業へと移り、国の再建に立ちあがりました。

西工一期生の生まれは昭和22年度生まれで団塊の世代（昭和二十二年〜昭和二十四年）と言われ、食糧難を強いられました。そして、現在の北工一期生は昭和34年度生まれです。その年の四月十日は皇太子成婚式が行なわれ、さわやかな日本晴れのこの日は皇居前が祝賀の人波で埋まり、日本中が晴れの行事に沸き立ちました。私はその時、郡山中町のうすい百貨店の屋上でテレビ放送に見入っておりました。その頃のテレビ契約台数は二百万台を突破して居りました。

経済成長の円熟期となり、夢の超特急と呼号した東海道新幹線が5年の歳月を経て昭和三十九年十月一日より営業開始になりました。同月、東京オリンピックが開催されました。そして、昭和四十一年六月にザ・ビートルズが武道館で公演し、その頃は相次ぐ学園闘争がありました。昭和四十八年にはオイルショックの来襲があり、トイレットペーパーが一時的に姿を消す騒ぎまで起りました。

北工が開校された昭和五十二年には、巨人の王貞治選手（三十七才）が、九月三日の対ヤクルト戦で通算七五六本塁打の本塁打を打ち、米国の大リーグのアーロン選手を抜いて世界のホームラン王となつた年です。

その王監督が率いる日本が平成十八年三月、WBCで世界一となり凱旋しました。

丁度その頃の我が北工ソフトボール部が、全国選抜大会に於いて準優勝となり輝かしい成績をおさめて学校に凱旋し、祝福を送りました。

平成十九年三月の全国選抜ソフトボール大会の切符を手にして居ります。北工ソフト

ボール部は全国制覇を目指して頑張つてほしいと思います。ピエノルド・クーベルタンが、オリンピック大会で重要なことは勝つことではなく、参加することである。人生においても重要なことは成功することではなく、努力することである。そんな言葉が思い起されました。

ソフトボール部に限らず、生徒の皆さんは部活動に励み、色んな競技大会に参加されて、ベストを尽くして下さい。

終わりになりますが、創立三十周年事業実行委員の方々のご協力に対し、心より感謝申し上げます。それを支えて下さいました学校の校長先生を始め、教職員の皆々様の関係者各位に衷心よりお礼申し上げます。

そして、同窓会にご寄附を頂いた皆様には心より感謝と御礼を申し上げますと共に会員各位のご健勝とご活躍を祈念し、併せて会員企業の益々の発展と隆盛を祈りまして挨拶と致します。



校長あいさつ

「周年事業を終えて」

校長 小菅富士雄



平成十九年の新年を迎え、今年一年の新たな目標に向け「北工丸」は、元気に走り続けたいと思っております。また、同窓生の皆様方には、日々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

私、平成十八年四月に赴任し、年度事業に『創立三十周年記念事業』が大きな課題として待ちかまえておりました。「記念式典を十二月十六日に実施」何故にと思いましたが、アスベスト除去工事、第一体育館の改造工事があり、年内実施のぎりぎりの日程が式典当日でした。この事について、改めて同窓生の皆様方の御協力、御支援があったればと感謝申し上げます。

一・二学期を終え、年度まとめの三学期を迎え「進路実現」を第一目標に、卒業・進級に生徒・教職員一丸となって頑張っ

ております。そして、三月一日『卒業式』は、三年生全員が希望ある未来への船出であり、同時に同窓生として在校生への良き道しるべとして頑張ってくださいを願っております。

『平成十八年度、創立三十周年節目の年』まよめのこの時期に改めて振り返りますと、「一学期」三年生にとっては、部活動最後の活躍の時期であり、また進路実現のための大きな決断の時期でもありました。中でも、部活動では、バレーボール部、ソフトボール部、陸上部、水泳部、スケート(自転車)部が全国インターハイで大いに活躍し、また囲碁将棋部の囲碁において県代表として全国大会へ出場しました。また、本県で開催された高校生ものづくりコンテスト

東北大会では、電気工事・化学分析・旋盤作業の全競技において東北代表として全国大会へ出場することができました。

「二学期」就職のための書類発送が始まり、順調に進路決定がなされました。また、高校生ロボット競技大会では、県代表四チームの内、本校二チームが

代表として全国大会で頑張ってきました。部活動においても新人戦が始まり、来年度また大いに期待が持てる結果を得ることができました。そして、「周年事業」記念誌発行、校歌パネルの設置、同窓会館の修繕、トレセンへの通路設置、吹奏楽部「定期演奏会」の復活、そして『記念式典』祝賀会と、大成功の内に終わることができました。

ここに至るまでには、同窓生の皆様方、特に本部役員の皆様方、各支部役員の皆様方の御支援、御協力があったればと心から御礼と感謝申し上げます。また、生徒は勿論、先生方の大いなる努力と頑張りにより賞賛し、心から感謝申し上げます。

「三学期」テクノフェアがあり、高校入試があり、卒業・進級があり、そして、人事異動があります。この『まよめの学期』は、新年度への準備の時期でもあります。

おわりに、同窓生の皆様方には、これから社会へと巣立つ卒業生へ温かく手を差し伸べてくださることをお願い致しますと共に、本校への更なる御支援、御協力をお願い申し上げます。

また、同窓生の皆様が、今後益々のご活躍と健康に留意される事を祈念申し上げます。

新会員のことば

機械科 岩谷 司



今年、北工は三十周年を迎えました。これは、同時に北工同窓会の永きにわたる歴史を物語っています。この同窓会の一員として入会出来ることを、我々一同、心から嬉しく思います。

私たちの高校生活を振り返って見たとき、先輩方の築き上げた伝統の大きさは計り知れなく、常に目標であり誇りでした。日々の勉強や部活動の中で数々の資格取得、運動部・文化部ともに全国大会での輝かしい結果を残すことができたのは、先輩方の歩んできた「道」がここ北工に、後輩たちに受け継がれているからこそだと思います。これから先、私たちの後輩もさらなる躍進をして、北工の伝統は継承されていくことでしょう。同窓会員として先輩方の仲間入りをさせていただくわけですが、まだまだ未熟でいたらないことが多くあるかもしれません。温かく見守ってくださいませよう、よろしくお願致します。

「全国高等学校ロボット競技大会」

ロボコンの愛称で知られているロボット競技大会は、各地で様々な大会が開催されていますが、今年度、平 智彦君、渡邊 彰宏君(情報技術科2年)、三瓶駿輔君(化学工学科2年)の3名はアイディアと技術力が勝負の高等学校ロボット競技大会に取り組み、県大会(48チーム参加)で2年連続優勝、更に情報技術科3年生5名が課題研究で取り組んだチームも準優勝し、埼玉県で開催された全国大会へ参加しましたので、紹介いたします。

この大会は毎年、開催地によって変わるテーマとルールの中で、全国各地の予選大会を勝ち抜いたチームが参加し競い合います。今年度の開催地は埼玉県で、規定の場所からリングバトンをロボットが保持し、ツリにその輪をいくつかけられるかを競う内容でした。彼らは、昨年の経験を生かし、新たな技術への挑戦を試みながら、仲間と協力し合い、ロボットを完成させ、毎日遅くまで、ロボットの操縦練習と調整に努力してきました。その結果、県大会では優勝、準優勝し、2チーム全国大会への出場権を得ることができました。

全国大会では、2回戦まで勝ち上がりましたが、3回戦で敗退してしまいました。彼らは「今年度の経験を生かし、全国の上位をねらえるように技術を磨きたい」と焦点は既に来年度へ向けられています。ロボット競技大会を通して、彼らは工業の楽しさ、技術の厳しさを、仲間を信頼し協力し合うことの大切さを学び、那山北工業高校の新たな伝統を育んでいます。



平成18年度 同窓会定期 総会報告

平成18年6月24日(土)午後5時から、郡山ビューホテルに於いて、平成18年度郡山北工業高等学校同窓会定期総会が百五十名の参加を得て開催されました。



「開会の言葉」

古川弘同窓会副会長の開会のことばで同窓会定期総会を開催しました。

「会長あいさつ」

滝田孝太郎同窓会会長より、ご出席の皆様へ、同窓会に対するご理解とご協力に対して御礼が述べられました。

郡山北工業高等学校が開校して30周年目を迎え、12月16日(土)午後5時半より、郡山ビューホテルに於いて記念式典を行う事が報告されました。同窓会の活動は円満に進んでいるが、北工の部活動も盛んである。ソフトボール部が春の全国選抜大会で準優勝の報告がありました。

「校長あいさつ」

小菅富士雄校長より、同窓会定期総会に対してお祝いの言葉を戴きました。北工創立30周年という節目を迎え、同窓会長を始め、PTA・学校とが丸となって式典に取り組みたいので同窓会のご支援を賜りたいと話がありました。

ソフトボール部・バレーボール部・ソフトテニス部・自転車部・囲碁将棋部が全国大会に出場するが、企業や地域の方に高い評価を得られ、我々教職員にも頑張らなくちゃと活力を頂いて居ります。最後に30周年式典を成功させたいと話を結びました。

「支部長代表あいさつ」

各支部を代表して日立支部

の古川秀康支部長よりご挨拶を頂きました。17年度は3支部の全てで支部総会を盛大に開催され親睦を深められた。

「ようこそ先輩」の授業では日立から古川秀康支部長、東京からは小池芳光支部長が来校して講演会がありました。生徒の前で体験談を話したが、将来に向けて何を成すべきか悩んでいた生徒が、講演を聞いて明確になったと云う感想文が多く寄せられ感銘を受けました。そして、水戸支部からは、教員向けに安全教育について講演されたと報告された。

「議長選出・書記任命」

事務局一任となり、田母神三知夫事務局長より、議長には西工43年度電気卒の伊勢野敏雄氏と郡工50定電卒の竹中広之氏、書記には北工55年度機械卒の遠藤仁一氏が提案され承認されました。

「議事」

平成17年度庶務報告は、田母神三知夫事務局長より総会資料に沿って行われ、会務報告、新会員報告、および職員の前で平成17年度転出者と平成18年度転入者に関する報告がなされた後、質疑を経て拍手をもって承認されました。

平成17年度決算報告は、片岡宏記事務局前会計によって行われ、中村弘監事による会

計監査報告の後、質疑を経て拍手を持って承認されました。平成18年度事業計画案は、田母神三知夫事務局長より提案され、質疑を経て拍手を持って承認されました。

平成18年度予算案は、阿部昇二事務局会計より提案され、質疑を経て拍手を持って承認されました。

滝田孝太郎会長より、30周年記念事業の為に体育館ステージの上に校歌を大きく表示するパネル板と、同窓会館の改修費の為に同窓会の基本金から200万円を寄付したいと提案され、拍手を持って承認されました。

続いて、名簿作成の進捗状況について、田母神三知夫事務局長より説明がありました。個人情報保護法の施行で独自の管理が難しくなり、(株)サラトに業務を委託した。9月末日に発行の予定であると話があり、拍手を持って承認されました。

顧問の増子久治前会長に感謝状贈呈を滝田孝太郎会長より賜りました。



「閉会のことば」

橋本正喜同窓会副会長の閉会のことばで同窓会定期総会を閉会しました。



「懇親会」

古川弘同窓会副会長の開会のことばの後、滝田孝太郎同窓会会長のあいさつ、ご来賓を代表し校長小菅富士雄様、PTA会長西館英雄様よりご祝辞を頂き、増子久治同窓会顧問の乾杯のご発声により懇親会に入りました。続いて、北工52年度建築卒の友木厚誌氏によるバンド演奏のアトラクションがありました。ベンチャーズ曲に聴き惚れながら賑やかに歓談されました。又、ゴルフコンペの表彰式も行われ、参加者は和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。最後に橋本正喜同窓会副会長の閉会のことばで懇親会を閉じました。

支部だより

東京支部



東京支部長
小池 芳光

「支部総会に皆さんの参加を」

世情は「いざなぎ」景気を超える好況と共に、多くの問題に悩まされ続けている昨今です。今年こそは、平和で明るい年にしたいと願っています。

では、前回以降の東京支部活動状況について報告させていただきます。

1. 支部内では：

イ) 2月に定期役員会を開催し、H17年度の活動・収支報告及びH18年度の活動計画について審議をしました。特に、会員の把握は本部と協力のうえ、住所不明者のフォローを重点課題とし、同級会・同期会の推奨と合わせ日常活動を続けてきました。同窓会全体では約5千名の住所不明者がいて、東京支部対象者でもこの3年間に77名発生、正味1,002名の会員となっていました。

ロ) 10月に、本部から北工

30周年記念のH18年度版会員名簿が発行されました。これにより、東京支部対象の会員数は1,215名と増加しました。62名の住所不明者を差し引くと、正味は1,153名となります。そこで皆さんにお願いですが、住所を変更された場合には是非、同窓会本部や支部、友人経由で連絡をとって頂きたいと思えます。

ハ) 拡大三役会を6月に、11月には臨時役員会を開催。来年の定期総会に提案する役員改選の審議をしました。続いて年早々には拡大三役会、定例役員会を開き「H19年6月2日、上野精養軒にて開催」予定の定期総会に向けての審議を行う予定となっています。

2. 支部外では：

イ) 1月17日に北工で卒業間際の3年生と先生方を対象に「特別授業：ようこそ先輩」と題して、「設計」と「仕事について考える」という内容の話、1・5時間の講義をしました。後で生徒達の感想文を読ませて頂きましたが、要旨はしっかり受け止めており、大変頼もしく感じました。社会

に出てから役立てて頂けるものと期待しています。

ロ) 6月には、日立支部の定期総会に出席。こちらは毎年開催されていて、皆さんの同窓会にける情熱をひしひしと感じることができ、更なる懇親を深め盛会でした。

ハ) 同じく6月に開催された本部の定期総会。親善ゴルフ大会共に、盛会でした。特に総会では、北工創立30周年記念に関する提案が沢山出され、本紙でも報告されている通り数多くの事業が実行されました。

ニ) 北工30周年記念式典は12月16日に北工の体育館で開催、輝かしい30周年を振り返り、次の40周年に向け新たな歩みが続けていこうと厳粛なうちに盛会裡に終了しました。

日立支部



日立支部長
古川 秀康

平成18年は日本を問わず世界各地で大規模な地震や記録的な洪水にみまわれるなど例年になく自然の脅威にさらさ

れた年ではなかったかと思えます。有名なイギリスの生物物理学者J・ラブロック氏の「ガイア理論」ではありませ

んが我々一人一人がエネルギーをふんだんに消費し続けていることに対する地球という生命体の怒りが少しずつ表面化してきているようにも思えてなりません。人の暮らしを豊かにすることを目指してモノ作りの片棒を担いでいる1人の技術者としてこの辺りをよく考えなくてはいけないと思う今日のごとです。前置きはさておき日立支部の平成18年度の活動状況についてご報告致します。

まず第一に念願の日立地区への就職希望者の内定であります。昨年の会報に述べましたが新卒者の日立地区への就職をなんとか実現させたいと微力ながら活動してきましたが先般3人の内定が実現致しました。久方ぶりの複数の就職者であり支部関係者一同3人の入社を心待ちにしているところであり盛大に歓迎会を開催したいと考えています。次年度も今回の実績をベースに就職希望者の支援活動を是非継続していきたいと思えます。

日立支部総会は6月10日(土)に実施しました。当日は学校側から小菅校長先生をはじめ、同窓会本部から滝田

会長、橋本副会長、田母神事務局長、さらに東京支部から小池支部長、水戸支部から八

代支部長及び熊田理事長の皆様方多数の来賓をお招きし盛大に開催しました。

総会第一部では恒例により一年間の活動経過報告及び今後の支部活動方針と計画に関する内容について討議を致しました。第二部の懇親会では来賓の方々よりご挨拶方々、母校の文化、体育系での活躍状況や30周年記念行事計画、各支部の状況などの報告を頂きました。懇親会では、故郷での最新の話題、他支部との情報交換そしてレジャーや趣味の話、そして恒例の日立支部OBによる驚きの活動紹介等が花を咲かせ盛会な内に終了することができました。

6月24日(土)に開催された本部総会には佐藤顧問、吉田副会長を含め4名参加させて頂きました。総会では、本部役員諸氏及び来賓の方々からの貴重なお言葉やご報告と小菅校長先生からの北工での各方面での輝かしい活動成果の紹介があり有意義な一時を過ごさせて頂きました。

また、12月16日(土)に行われた郡山北工「30周年記念式典」には白岩幹事、荒木顧問が参加させて頂きました。体育館で行なわれた第一部の式典では、旧職員を含む学校



関係者、PTA、県内の教育関係者、政界、マスコミ界と多彩且つ多数の来賓の参列者があり、1000余名の全生徒とあわせそれは圧巻で日本一の工業高校の式典に相応しいものでした。第二部の懇親会は郡山ビューホテルで行われましたが懐かしい方々の再会もあり大変有意義な一時

を過ごさせて頂きました。

平成18年度の支部活動としては特に例年と大きな変化はありませんでしたが前述のように先生方及び生徒さんと密に情報交換をしあつて日立地区への若い会員仲間を増やすことができたことは何よりも大きな成果だったのではないかと考えております。今後とも母校及び同窓会本部とのパイプをより密にし、支部としての役割を一層意義あるものとしていきたいと考えておりますので宜しくお願い致します。母校と同窓会の益々のご発展とご繁栄、そして関係する皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

水戸支部



水戸支部長
八代 正雄

平成十九年の新春を迎え明けましておめでとうございます。

昨年はスポーツ界で明るい話題が続きました。アテネオリンピックでの荒川静香選手の金メダル獲得。昨年の流行語ではイナバウワーが選ばれる等、話題を独占しました。

また、WBCでは王監督が率いる日本代表チームが世界一に輝きました。また、プロ野球では新庄選手が率いる日本ハムファイターズが四十四年ぶりに優勝しました。

景気、経済面ではライブドア社長やファンド代表が逮捕されるなど時代の寵児と呼ばれた人が失脚し、株価に多大な影響を及ぼし、経済面に影響がでるかと思われましたが、景気は緩やかに回復し、ゼロ金利も解除され、景気回復期間は、戦後最長であったいざなぎ景気を超えました。

今年の干支は亥です。亥は昔から猪突猛進などと言われる力強いイメージで語られています。同窓会の皆様も夫々の職場・組織で力強くなればっていただきたいと存じます。今年も景気の上昇と災害のない穏やかな年になりますようお願い申し上げます。

さて、平成十八年度の水戸支部の活動について報告致します。

●四月十九日

水戸支部理事会
平成十八年度（四月から）から那珂ブロックが日工ブロックから幹事ブロックに引き継ぎをするため、各ブロックの理事（幹事）さんに参加していただいた。今後の行事推

進や支部活性化の相互懇親会を実施した。日本は少子化時代を向かい、団塊の世代が定年を向かいる昨今において、水戸支部同窓生においても例外ではなく、支部活性化の課題は今後も悩みの種である。

水戸支部は、ひたちなか市を中心に、その周辺地域に所属する同窓生の六ブロックから構成されている。

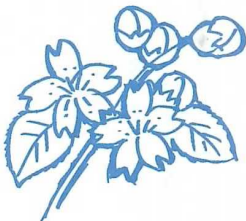
- ①水戸ブロック
 - ②佐和ブロック
(旧日製水戸工場)
 - ③東海ブロック
(旧日製東海工場)
 - ④那珂ブロック
(旧日製那珂工場)
 - ⑤日工ブロック (日立工場)
 - ⑥県庁ブロック (茨城県庁)
- 水戸支部六ブロック構成も平成十七年度までとなり、東海ブロックが支部から脱退することを余儀なくされ、平成十八年度からは五ブロック構成で運営することになった。
- 六月十日
日立支部総会出席。
(八代支部長、熊田理事長)
 - 六月二十四日
本部総会出席。
(八代支部長、山崎顧問、熊田理事長、坂本幹事)

同日のコンペに三名参加。
(八代、山崎、橋本が参加)
●十二月十六日
郡北工三十周年 記念行事出席。
(山崎顧問、熊田理事長)

平成十九年度の予定は
●六月 本部総会、東京支部総会、日立支部総会出席。
●九月 支部懇親会開催。
●十月 コンペ開催。
●十一月二十四日
平成十九年度水戸支部総会開催。詳細は後報。

最後になりましたが母校の益々のご発展と、同窓会のご発展、ご繁栄、そして同窓会の皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

以上



ソフトボール部 全国選抜大会準優勝報告

創立30周年を迎えたこの年に郡山北工ソフトボール部を掲載して頂き誠にありがとうございます。

さて、平成18年3月に兵庫県加古川市で行われた第24回全国高校選抜大会の結果並びに平成18年度の新人戦東北大会・第25回全国高校選抜大会の抱負を述べさせていただきます。

東北地方は雪国のためなかなか思うように練習が出来ません。千葉・東京・群馬への遠征を繰り返し、大会直前に大阪府にある強豪校の清風南海高校と練習試合を行った。ここまでの練習試合では結果が残せなかったため、プレッシャーもなく挑戦者のまま大会に臨みました。

1回戦では投手の永沼竜二がノーヒットノーランで試合を作り、2回戦では柳田泰生のサヨナラヒットで勢いにのり、準々決勝では佐藤輝・柳沼正孝のホームランで勝ち、準決勝では機動力と長打がうまく噛み合い決勝に進みました。決勝戦では5回まで0-0で進みましたが6回・7回



に失点をし0-4で敗退しました。東北で初めてベスト4以上に残り大会の結果は満足していません。新たな伝統を築いてくれた選手・マネージャー及び保護者、関係者に感謝しています。現在1・2年生の新チームになり数ヶ月経ちました。10月に行われた県高等学校新人体育大会では決勝で福島東高校に8-0の5回コールドで6年連続18回目の優勝をすることができ、第25回全国高校

試合結果 第24回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会結果 準優勝

- 1回戦 郡山北工 15 - 0 雄山(富山)
- 2回戦 郡山北工 1 - 0 豊川(愛知) 延長8回
- 準々決勝 郡山北工 7 - 2 埼玉栄(埼玉)
- 準決勝 郡山北工 6 - 3 大村工(長崎)
- 決勝 郡山北工 0 - 4 九州産業大付属九州(福岡)

選抜の出場権を得ることができました。翌週に山形県南陽市で開催された第1回東北高校選抜大会に出場しました。初戦は由利工(秋田)に4-3で辛くも勝ち、福岡(岩手)に6-2で予選リーグ1位で通過しました。準決勝では地元山形県代表の南陽高校と対戦し13-3の5回コールド勝利、決勝では再度勝ち上がって来た由利工と対戦して15-1の5回コールドで勝利して優勝をすることが出来ました。平成19年3月に静岡県富士

位置	氏名	学年	位置	氏名	学年
引率責任者	柳沼善久		右翼手	柳田泰生	3年
監督	大森史仁		内	濱尾大輔	3年
投手	永沼竜二	3年	内	渡辺友也	3年
捕手	佐藤輝	3年	外	吉田伸	3年
一塁手	柳沼正孝	2年	内	國分祐貴	1年
二塁手	長谷川雅人	3年	外	渡辺勇太	3年
三塁手	星野和也	2年	内	三浦貫天	2年
遊撃手	鈴木恭平	2年	外	鈴木健一	2年
左翼手	大森偉心	3年	内	円谷亮	1年
中堅手	吉田仁	3年	マネージャー	小林莉乃	3年

宮市で行われる第25回全国高校選抜大会では昨年の準優勝杯を返還します。そして全国制覇を目指し優勝旗を持ち帰るために更なる努力をさせていただきます。昨年と同じ練習では昨年以上のものが望めないため東北初の快挙のため新たな伝統を作り、郡山北工ソフトボール部の創部30周年に花を添え、トップアスリートを目指し限らない挑戦をしていきます。

郡山北工業高等学校
ソフトボール部
監督 大森 史仁

環境に配慮した
「新しい印刷」を追求します。

■ISO 14001.....2003年6月25日取得 ●FSC認証紙
●大豆油インキ
●水なし印刷

■FSC (CoC) 認証...2005年1月20日取得 ●水なし印刷

●総合印刷 ●マルチメディア ●ビジネスソリューション

株式会社
ヨシダコーポレーション
YOSHIDA

〒963-0724 福島県郡山市田村町上行合字北川田22-1
TEL.(024)942-0005(代) FAX.(024)942-2233
URL http://www.media-yoshida.co.jp

本格派中国料理
龍宮城
代表取締役社長 橋本 正喜
(昭和42年度機械科卒)

安積店/〒963-0107 郡山市安積4丁目38
TEL.(024)946-3171 FAX.(024)946-3107
西ノ内店/〒963-8022 郡山市西ノ内1-13-9
TEL.(024)939-4649 FAX.(024)939-4655
http://www.ryugujyo.co.jp/
E-mail info@ryugujyo.co.jp

●送迎バスもありますのでご相談下さい。

マイクロバス(25人・29人乗り)・ワゴン車(10人・8人乗り)・乗用車
ライトバン・トラック(軽・1t・2t)・アルミバン(2t・4t)・3t積車載車
冷凍冷蔵庫(2t・3t)・高所作業車の御用命は……

有限会社
郡山中央レンタカー
あいおい損害保険代理店

代表取締役 渡邊 俊彦

郡山市富久山町福原字水尾沢19番地の3
☎(024)924-0844・932-8828
FAX(024)934-5334 〒963-8061
URL http://www.kcr.jp

生徒会だより

今年度の生徒会活動状況を報告します。 阿部 高英

今年度も高校総体や県総体、新人大会で多くの部活動が上位大会へ出場し活躍しました。詳細は大会成績報告をご覧ください。

七月には、校内球技大会が行われ、あいにくの天候だったため2日間体育館で行われました。バレーボールやバスケットボール、卓球・バドミントンで白熱した試合が行われました。

九月には生徒会役員改選が行われ、新生徒会長に建築科2年の星名花林が就任し、以下十五名の新役員を迎え、十六名のメンバーで新たなスタートを切ることとなりました。

今年度は創立三十周年事業の一つとして第一体育館改装工事が行われたため、例年十一月に行っていたミニ文化祭を十二月に実施し、クラス対抗綱引きや長縄跳び、ドッジボールや玉入れなど、全員参加型の種目を通して、クラスの結束がより強固になったと思います。

また、三十周年を記念して吹奏楽部の定期演奏会が復活

し、生徒会役員も準備段階から協力し、演奏会は大成功のうちに終わりました。

ロボット競技大会やものづくりコンテスト等でも全国大会などで活躍し、運動部だけでなく文化部の活動も活発に行われました。

今年度を振り返ると、文化部、運動部ともに活躍がめざましく、日頃の練習の成果を十二分に発揮したと思います。今年度で北工は三十周年を迎えましたが、また来年度から四十周年に向けて新たなスタートを切り、生徒会活動をより活発にしていこうと考えています。



シーリング・防水資材販売
省力化機器設計、製作

ヒッツマテリアル株式会社

代表取締役 笹山 仁
常務取締役 笹山 真宏 (西51電)
専務取締役 笹山 忠昭 (北53機)

福島県郡山市笹川二丁目1番地の4
TEL.024-947-5805 FAX.024-947-5804

平成18年度

部活動大会成績報告

野球部

・第38回県中地区高等学校野球選手権大会 …… 第3位

バレーボール部

・第52回福島県高等学校体育大会県南地区大会 …… 第1位
 ・第52回福島県高等学校体育大会 …… 第1位
 ・春季県南バレーボール選手権大会 …… 第1位
 ・第42回東北高等学校バレーボール選手権大会 …… 第3位
 ・第59回福島県総合体育大会 …… 少年男子 …… 第2位

サッカー部

・第52回福島県高等学校体育大会県南地区大会 …… 第3位

ラグビー部

・第52回福島県高等学校新人体育大会県南地区大会 …… 第1位
 ・第45回郡山市民体育祭ラグビー競技 …… 第1位

弓道部

・平成18年度新人戦福島県大会 …… 男子団体 …… 第1位
 …… 男子個人 …… 佐藤 篤 …… 第1位

陸上部

・第52回福島県高等学校体育大会県南地区大会 110MH …… 須田 毅 …… 第2位
 やり投げ …… 山口 慧司 …… 第2位
 ・第52回福島県高等学校体育大会 …… 110MH …… 須田 毅 …… 第3位
 ・第61回県南陸上競技選手権大会 …… 200M …… 佐藤 涼介 …… 第2位
 …… 400M …… 堀田 敏也 …… 第2位
 やり投げ …… 山口 慧司 …… 第3位
 …… B110MJH …… 須田 毅 …… 第3位
 ・第59回福島県総合体育大会 …… 110MH …… 須田 毅 …… 第3位

水泳部

・第52回福島県高等学校体育大会 …… 1500M自由形 …… 吉田 寛人 …… 第1位
 …… 400M個人メドレー …… 吉田 寛人 …… 第2位
 …… 200M・400M自由形 …… 伊藤 駿 …… 第1位
 …… 男子総合 …… 第3位
 ・第61回東北高等学校水泳競技大会 1500M自由形・400M個人メドレー
 …… 吉田 寛人 …… 第4位
 …… 200M・400M自由形 …… 伊藤 駿 …… 第6位
 ・第14回東北高等学校新人水泳大会 …… 200M自由形 …… 伊藤 駿 …… 第4位
 …… 400M自由形 …… 伊藤 駿 …… 第3位

卓球部

・第52回福島県高等学校体育大会県南地区大会 男子学校対抗 …… 第2位
 …… 男子シングルス …… 高橋和也 …… 第3位

ソフトテニス部

・平成18年福島県高等学校県中県南ソフトテニス選手権大会 …… 団体A …… 第2位
 …… 団体B …… 第3位
 ・第59回福島県総合体育大会 …… 個人戦 …… 齋藤 陽之 …… 第3位
 ・平成18年福島県高等学校新人体育大会県中地区大会 …… 男子団体 …… 第2位
 ・第52回福島県高等学校体育大会県南地区大会 …… 齋藤 陽之 …… 第2位

柔道部

・第52回福島県高等学校体育大会県南地区大会 57Kg級 …… 小林 佑麻 …… 第3位
 …… 66Kg級 …… 佐藤 拓也 …… 第3位
 …… 73Kg級 …… 田村 亮祐 …… 第2位
 …… 男子団体・女子団体 …… 第3位
 ・第59回福島県総合体育大会 …… 少年少女…先鋒の部 …… 小林 佑麻 …… 第3位

ソフトボール部

・第52回福島県高等学校体育大会 …… 第1位
 ・第59回福島県総合体育大会 …… 少年男子 …… 第1位
 ・第32回東北高等学校ソフトボール選手権大会 …… 第1位
 ・平成18年全国高等学校総合体育大会 …… 第5位

バスケットボール部

・第52回福島県高等学校体育大会県南地区大会 …… 第3位

ハンドボール部

・第52回福島県高等学校体育大会県南地区大会 …… 第3位
 ・第52回福島県高等学校新人体育大会県南地区大会 …… 第3位

スピードスケート部

・第38回東北東等学校対抗自転車競技選手権大会 スプリント …… 遠藤 貴裕 …… 第6位
 ・第52回福島県高等学校体育大会スケート競技 …… 500M・1500M 遠藤 貴裕 …… 第1位
 …… 5000M・10000M 野地 健太 …… 第1位
 …… 学校対抗 …… 男子 …… 第1位

囲碁将棋部

・第30回全国高等学校囲碁選手権大会 …… 男子団体 …… 第1位

工業科

・三級建築大工技師 …… 森山 雄介・箭内 裕真
 ・高校生ものづくりコンテスト2006東北大会 電気工部門 …… 最優秀賞 本田 明
 …… 化学分析部門 …… 最優秀賞 矢内 崇志
 …… 機械系旋盤部門 …… 優秀賞 岩谷 司
 ・福島県高校生ものづくりコンテスト2006 機械系旋盤部門 渡邊 琢 …… 第1位
 …… 化学分析部門 …… 佐久間 鈴圭 …… 第1位
 …… 木材加工部門 …… 影山 貴之 …… 第3位
 ・全国産業教育フェア埼玉大会 全国高校生プログラミングコンテスト
 …… ターゲットサーチ2 …… 秋山 裕紀・遠藤 祐紀 …… 第8位

進路状況

評価高まる北工生

進路指導主事 鈴木倫子

進路指導主事 鈴木倫子
郡山北工業高校となつて三十周年の卒業式が近づいて参りました。秋の三十周年記念行事にあつては、多くの同窓会員の皆様から心強い激励や御助言を賜りまして深く感謝申し上げます。

この三十周年間の社会経済状況は、非常に激しい変動があり、本校の進路状況にも大なり小なり影響があつたことは例外ではありません。平成六年度からの進路状況の変化を概略述べますと、最も求人状況がよかつたのは六年度(県内四七三社・県外一六二社・計一六三三社)でした。翌年の七年度には、県外が激減して六一二社と約半数になつていますが、県内は僅かながら増えて五二六社、しかしこれら翌八年度には五〇〇社に減つています。最も大きな変化は十年度から十一年度への状況です。求人総計一〇二〇社だったのが約三分の二の六八〇社になつています。その後六〇〇社の状況が続き、十七年(昨年)に七〇一社、今年度はようやく十年度並みに復活して一〇〇〇社を超えました。求人状況の変化にともなつて、進学状況も変化し、進学者の割合が増えていきます。六年度は一五・八%だった進学者が、求人激減した十一年度には三一・四%と二倍になつています。県内求人が最も少なかつた十六年(二一五社)には四五・五%が進学しています。しかし、進学者が増えたのは就職難という理由だけではありません。進学者の内訳を見ると、十一年度までは約三割が大学で七割が専門学校等でしたが、十二年

度からは大学が四割を超え、進学者が一番高かつた十六年度(県内求人最低)には進学者の約半数(四七・五%)が大学に進んでいきます。進学先も多様になつてきており、生徒の希望が多様多様になつていくことがわかります。生徒達は、技術・工学の進歩や社会構造の変容をいち早くキャッチして探求心をたぎらせています。さて、平成六年度からの変化を見ただけでも、最も求人少かつた十六年度は、最も良かつた年の三八%程度というほどの開きがありますが、その間においても本校では、時期は遅くなつても何とかほぼ全員の進路先を決定することができました。その陰には、同窓生の直接、間接のご尽力があつたことに感謝申し上げます。

近年はまた、意欲・勤勉さ・向上心・挨拶のさわやかさ・明るさ等の面で卒業生が評価され、お陰様で本校生があちこちで望まれています。卒業生の活躍のおかげであるととも、本校生を大切に育てて下さる企業様の御尽力にも深く頭の下がる思いです。本当に、同窓生と地域社会に支えられて育つてきた郡山北工業高校であると感謝申し上げます。
三一年目の歩みが始まろうとしております。若者の人生のステージはますます広くなり、それだけに迷いも生ずるかと思われまふ。我々職員は家庭・地域社会・職員同士との連携を取つて、生徒の迷いに寄り添ひながら指導を続けて参ります。同窓会員の皆様には、今後も様々な面で御支援賜りますようお願い申し上げます。

福島県立郡山北工業高等学校進路指導部
平成19年 1月31日現在 ()は女子内数

平成18年度進路内定状況

Table with columns for 科 (Mechanical, Electrical, Electronics, Information, Building, Environment, Chemistry) and rows for 在籍者数, 就職希望者数, 就職内定数, 進学希望者, 進学者, 進学未定, 其他. Total counts are provided for each row.

産業別内定状況

Table showing industry-specific job placement counts across various sectors like Manufacturing, Information, etc.

求人件数(求人票枚数)

Summary table for job openings and application forms, showing counts for 県内 and 県外, and a total of 1011 openings and 789 forms.

4年制大学合格状況(過去3年間)

Table listing university admissions for the past three years, including university names and counts for each year (2016, 2017, 2018).

進路内定率 下段は前年度同期

Table showing job placement rates for 就職 (95.16%), 大学進学 (95.52%), and 短大その他 (96.83%), along with previous year's data.

職業別内定状況

Table showing job placement by profession, categorized by industry and specific job types like specialized technical, sales, etc.

準大学・訓練校・専修各種学校 (平成18年)

- List of vocational schools, training schools, and correspondence schools, including names like 日本自動車大学校, 日本調理技術専門学校, etc.

平成17年度 決算報告

1 収入総額 5,120,794円 2 支出総額 4,405,565円 3 差引残高 715,229円

1.収入の部

項目	予算額	決算額	増△減	備考
繰越金	811,638	811,638	0	
入会金	1,920,000	1,920,000	0	入学生320人×6,000
会費	1,908,000	1,902,000	△6,000	卒業生317人×6,000
会誌広告料	100,000	200,000	100,000	
一般寄付	200,000	287,140	87,140	
雑収入	0	16	16	利子
合計	4,939,638	5,120,794	181,156	

2.支出の部

項目	予算額	決算額	増△減	備考
基本金	382,800	382,200	△600	入会金・会費×0.1
会議費	500,000	461,050	△38,950	三役会 幹事会
事務費	120,000	125,702	5,702	コンピュータ・インク等
慶弔費	100,000	39,740	△60,260	弔電・会費等
通信費	1,600,000	1,514,621	△85,379	送料等
旅費	350,000	247,055	△102,945	本部・東京・日立・水戸
会誌編集費	700,000	696,990	△3,010	会誌(56号)印刷
渉外費	100,000	62,455	△37,545	新聞広告等
卒業生諸費	250,000	250,277	277	賞状ファイル・大辞林
事務局費	100,000	90,000	△10,000	事務局会費
北嶺祭	0	0	0	
支部助成金	180,000	180,000	0	東京・日立・水戸
学校案内助成	50,000	0	△50,000	
総会費	350,000	355,475	5,475	総会補助等
予備費	156,838	0	△156,838	
合計	4,939,638	4,405,565	△534,073	

3.差引残高 ¥715,229 は次年度へ繰り越します。

平成17年度 基本金報告

定期預金	5,390,109	大東銀行定期預金
平成17年度入会金・会費の1割	382,200	大東銀行定期預金
合計	5,772,309	

平成17年度会計監査報告

平成18年4月5日の監査の結果異常のないことを認めます。

会計監査 加藤 和 大
中村 弘
笹山 忠 昭

平成17年度 会務報告

年月	行事名	内容等	場所
H17 4. 8 21	平成17年度入学式 第1回 幹事会	会長・副会長 出席 平成17年度定期総会について	学校 郡山ビューホテルアネックス
5.20 26	第1回 三役会 第2回 幹事会	平成17年度定期総会について 同上	ホテルハマツ 龍宮城
6. 4 18 25	日立支部総会 平成17年度定期総会 東京支部総会	校長、会長、事務局 計3名出席 校長、顧問、会長、事務局 計4名出席	日立市 ホテルハマツ 東京
8. 8	第2回 三役会	定期総会反省会、30周年の名簿作成について	郡山ビューホテルアネックス
9. 2	第3回 幹事会	定期総会反省会	郡山ビューホテル
11.22	第4回 幹事会	今後の活動方針について (平成18年度定期総会、同窓会報の内容等について)	ホテルハマツ
26	水戸支部総会	顧問、会長、事務局 計3名出席	ひたちなか市
H18 2.21 28	同窓会報(56号)発行 同窓会入会式	顧問、会長、副会長 出席	学校
3.1 3 4.5	平成17年度卒業式 同窓会報(56号)発送 会計監査	会長、副会長 出席 平成17年度会計	学校 龍宮城

平成17年度までの卒業生総数

福島県立郡山工業高等学校 昭和19年4月～昭和52年3月	福島県立郡山西工業高等学校 昭和38年4月～昭和52年3月	福島県立郡山北工業高等学校 昭和52年4月～平成18年3月
全日制 機械科 2,570名 電気科 852名 電子科 741名 建築科 1,114名 工業化学科 565名 定時制 機械科 357名 電気科 222名 建設科 140名 産業科 74名	全日制 機械科 1,114名 電気科 1,059名 化学工学科 999名	全日制 機械科 3,181名 電気科 2,201名 電子科 1,155名 情報技術科 1,076名 建築科 1,151名 環境システム科 347名 化学工学科 2,185名 工業化学科 83名 定時制(平成14年3月開課程) 工業科 167名 機械科 207名 電気科 184名 建設科 32名
小計 6,635名	小計 3,172名	小計 11,969名
合計 21,776名		

職員異動報告

平成18年度人事異動にともなう転入者

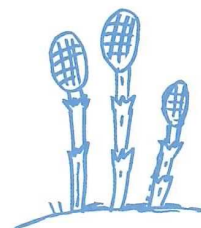
No.	職名	氏名	教科	前任校
1	校長	小菅富士雄		瑞工業高校
2	教諭	松本代志博	理科	福島工業高校
3	教諭	澁谷栄一	情技	白河実業高校
4	教諭	大河内克浩	数学	あさか開成高校
5	教諭	茂木政弘	環シ	二本松工業高校
6	教諭	荒政和	英語	郡山萌世高校(通)
7	教諭	阿部高英	地歴公民	橘高校
8	教諭	小椋山 淳	数学	新採用
9	再任教諭	福田博司	機械	再任用
10	実習教諭	阿部昇二	電気	白河実業高校
11	実習教諭	本田文一	情技	会津工業高校
12	実習教諭	二階堂 勉	環シ	二本松工業高校
13	常勤講師	相楽博子	国語	船引高校
14	常勤講師	渡部信人	体育	栗田中学校
15	常勤講師	塩野 学	環シ	
16	時間講師	大島峰幸	環シ	
17	時間講師	深田 茂	美術	安達東高校
18	主任主査	岡崎典男		労働領域雇用対策G

平成17年度人事異動にともなう転退職者

No.	職名	氏名	教科	転出先
1	校長	根本源太郎		退職
2	教諭	佐藤正助	化工	退職
3	教諭	渡邊毅郎	国語	白河第二高校
4	教諭	船島清治	数学	白河旭高校
5	教諭	木田清人	地歴公民	須賀川桐陽高校
6	教諭	佐川公一	体育	福島明成高校
7	教諭	本郷一彦	英語	清陵情報高校
8	教諭	浜津俊明	機械	白河実業高校
9	実習教諭	渡辺正一	環シ	福島工業高校
10	実習教諭	服部良男	情技	会津工業高校
11	実習教諭	菊地安行	電気	白河実業高校
12	常勤講師	高橋佑樹	理科	須賀川桐陽高校
13	常勤講師	鈴木 武 環シ	退職	新採用(福島工業高校)
14	月手当講師	村田耕一	情技	退職(清陵情報高校)
15	兼務講師	二階堂恵子	美術	退職
16	就職促進支援員	熊谷 晃		退職
17	主任主査	福吉英信		農業短期大学

新会員報告

科	人数
機械科	80名
電気科	39名
電子科	40名
情報技術科	39名
建築科	41名
環境システム科	40名
化学工学科	38名
合計	317名



平成18年度 同窓会役員名簿

	氏名	勤務先	卒年度科
相談役	植田 英一	前県議会議員	
顧問	渡辺 達英	(有)渡達	郡24機
〃	増子 久治	田村通信防災工業(株)	郡42定電
会長	滝田 孝太郎	(株)ワールドジャーナル	西42電
副会長	古川 弘	(有)古川弘建築設計室	郡40建
〃	橋本 正喜	中国レストラン龍宮城	西42機
監事	加藤 和夫	(社)福島県計量協会	郡26機
〃	中村 弘	郡山演劇鑑賞会	西49電
〃	笹山 忠昭	ヒップマテリアル(株)	北53機

(卒年度順)

幹事	落合 弘		郡32機
〃	佐藤 実	佐藤実建築設計事務所	郡33建
〃	泉 定信		郡34電
〃	石田 秀夫	東北化学工業(株)郡山工場	郡39定機
〃	渡辺 俊彦	(有)郡山中央レンタカー	郡40定機
〃	伊勢野敏雄	(株)うすい百貨店	西43電
〃	渡辺 千尋	あさか開成高等学校	西43化工
〃	佐久間保一	結建築研究室	郡46建
〃	矢部 重光	清陵情報高等学校	郡48子
〃	渡辺 正一	福島工業高等学校	郡49工化
〃	柳 沼信一	(有)県南通信サービス	西49電
〃	竹中 広之	(有)竹中電気	郡50定電
〃	佐々木 郁雄	福島工業高等学校	西50機
〃	西 館 丈志	JR東日本(株)	西50機
〃	大内 菊夫	山崎製パン(株)郡山営業所	郡51定電
〃	吉田 典秀	林精器製造(株)	北52機
〃	小松山伸一	郡山地方広域消防組合	北53機
〃	長 尾 進	福島トヨタ自動車(株)	北53機
〃	吉成 広幸	JT郡山工場	北53機
〃	斎 藤 均	JT郡山工場	北53機
〃	大原 英雄	(株)ハイネット21	北53化工
〃	影山 春男	勿来工業高等学校	北56電
〃	橋本 健二	(株)PMC テクニカ	北56情
〃	浦井 照夫	清陵情報高等学校	北59機
〃	國道 美行	清陵情報高等学校	北59機
〃	佐藤 伸宣	関彰商事(株)	北61化工
〃	渋谷 健夫	(有)シブヤ	北62機
〃	今泉健太郎	(株)香設計	北 1建
〃	宗方 信恵	(株)日本デジタル研究所	北 6子
〃	大内 幸恵	(有)桑原工務店	北 6建
〃	千葉 祐子		北 6建
〃	小林 吉行	(有)ヴェルコスモ	北 6建

企業内支部長

	氏名	勤務先	卒年度科
〃	三本木 寛	(株)朝日ラバー	北62機
〃	大谷 元宏	(株)アルコ研究所	北53子
〃	橋本 孝行	石橋工業(株)	郡50機
〃	宗像 文雄	(株)エディソン	郡50電
〃	平栗 俊昭	郡山ビューホテル(株)	北52工化
〃	本田 昇意	コマツ福島(株)	北54機
〃	橋本 政夫	(株)ザイン	北55機
〃	熊田 晃大	白沢建設(株)	北54建
〃	佐藤 芳晴	須賀川プレジジョン(株)	北54機
〃	鈴木 義崇	(株)セイフティープラン	北16電
〃	郡司 昌幸	田村通信防災工業(株)	北11電
〃	安齋 文男	テレコム機器(株)	西41電
〃	千葉 利行	日本化学工業(株)	西42電
〃	柳 沼 幸代	八光建設(株)	郡51建
〃	青木 博泰	林精器製造(株)	北52機
〃	岩崎 洋一	ハマツ観光(株)	北61建
〃	七海 孝夫	ヤマキ電気郡山事業所	北53電
〃	菅井 貞夫	(株)ヨシダコーポレーション	西46化工

事務局 局長	田母神三知夫	郡山北工業高等学校	郡43機
事務局 次長	柳 沼 善久	郡山北工業高等学校	郡51子
〃	浦 山 敏	郡山北工業高等学校	北52機
会 計	阿 部 昇二	郡山北工業高等学校	郡51子
事務局 員	達 崎 守	郡山北工業高等学校	西40電
〃	熊 田 志 郎	郡山北工業高等学校	郡49工化
〃	本 田 文 一	郡山北工業高等学校	北52子
〃	片 岡 宏 記	郡山北工業高等学校	北58化工

同窓会支部長

東京支部長	小池 芳光	(株)興栄製作所	郡27機
日立支部長	古川 秀康	(株)日立製作所	郡41機
水戸支部長	八代 正雄		郡34電

平成18年度 一般寄付者名

ご寄付ありがとうございました

氏名	卒年度科	氏名	卒年度科		
壁谷 宗春	郡27機	茨城県	畑 吉春	郡29機	東京都
宮地 勝徳	郡46工化	福井県	佐藤 孝男	北56電	田村市
山崎 功	郡29機	茨城県	坂野 勇一	郡23機	東京都
高原 三郎	郡27機	愛知県	先崎 智久	北12機	田村市
渡辺 英夫	北63建	郡山市	渋谷 茂文	郡30機	東京都
堀井 芳則	北16子	郡山市	吉田 忠誠	郡40機	三重県
増子 久治	郡42電	郡山市	橋本 洋治	郡36子	茨城県
鈴木 功	郡30機	東京都	野村 正直	郡39工化	千葉県
橋本 七郎	郡27機	東京都	田中 良夫	郡41機	栃木県
鈴木 久	北57電	郡山市	小池 芳光	郡27機	神奈川県
松本 三郎	西43機	埼玉県	関 勝彦	郡40機	千葉県
佐藤 賢三	郡38電	本宮町	兼田 正男	西46電	神奈川県
渡辺 亮介	北17子	白沢村	石井 茂男	郡29機	茨城県
宗像 厚	北52建	郡山市	白鳥 敏雄	郡42工化	埼玉県
井上 安邦	郡40建	神奈川県	渡辺 正春	郡48建	千葉県
八代 正雄	郡34電	茨城県	渡邊 義人	郡29機	埼玉県
高橋 洋	?	郡山市			

一般寄付のお礼とお願い

第56号会報の発送にあわせて一般寄付のお願いを致しましたところ、33名の皆様より寄付を頂戴致しました。誠にありがとうございました。寄付金は同窓会運営のために有効に使わせて戴きます。

同窓生で連絡が取れなかった会員が5,000名を超えていましたが、北工創立30周年記念事業にあわせて、会員名簿を10年ぶりに昨年9月末日に発刊しました。約1,000名の方が新しく連絡先が取れました。

今回の第57号会報では久しぶりに増刷が必要となりました。又、郵便払込取扱票の印刷は事務局で印刷しておりましたが、会報発刊先である(株)ヨシダコーポレーションに今回より印刷を委託しました。それに伴い発送経費は膨らみます。世間のすう勢から寄付金は年々減っている傾向にあります。このような状況ですが、尚一層のご協力を賜りたいと存じます。本年度も同窓生会員の皆様ならびに旧教職員の方々にご協力を賜りたく、郵便払込取扱票を同封させていただきます。

ご寄付を戴ける方は、払込取扱票の金額、ご依頼人の欄および通信欄を記入のうえ郵便局にて払い込み下さるようお願い致します。

また郵便払込取扱票は、定期総会に参加される方が会費を納入する場合にも使用が戴けます。その際は必ず通信欄の総会参加費に○を付けて、払い込み下さるようお願い致します。

営 業 品 目

火災報知設備・構内交換電話設備・消火設備
防火排煙設備・非常用放送設備・テレビ共聴設備
消火器・防犯設備・以上に附帯する一切の業務

田村通信防災工業株式会社

代表取締役 増子 久治 (昭和42年度電気科卒)

郡山市安積町荒井字下北井前4-1

☎ (024) 945-2882(代) FAX (024) 946-2875

E-mail: tamura-t01@isis.ocn.ne.jp

総会風景



創立30周年写真特集

平成18年12月16日 学校体育館



校旗入場



小菅小学校長式辞



実行委員長挨拶(滝田同窓会会長)



生徒代表のこたば



祝賀会で挨拶する小菅校長(ビューホテル)



祝賀会で挨拶する増子顧問(ビューホテル)



吹奏楽部定期演奏会
郡山公会堂 12月24日(日)

ゴルフコンペのご案内

- 平成19年度も定期総会当日にゴルフコンペを開催いたします。
多数の参加をお待ちしております。参加をご希望される方はコンペ幹事まで御連絡ください。
- 日 時:平成19年6月23日(土) ●場 所:宇津峰カントリークラブ
- 定 員:40名
- 申 込:コンペ幹事
 - ①波辺正一(郡49工化)
福島県立福島工業高等学校
電話024(557)1395 FAX 024(556)0405
s-watanabe@br81.fks.ed.jp
 - ②橋本正喜(西42機械)
中国レストラン龍宮城
電話 024(946)3171

事務局 だより

今年度も皆様のご協力により会報を発行する事ができました。心より感謝申し上げます。
北工創立30周年記念事業であった会員名簿は、10年ぶりに昨年9月末日に発刊しました。お陰様で約1,000名の連絡先が確認でき、第57号会報は久しぶりに増刷が必要となりました。
12月16日(土)、30周年記念式典と祝賀会は盛会りに挙行されました。同窓会記念事業では、体育館ステージ上の壁に校歌パネル設置と合宿所修繕費の援助を行いました。
今年度は会員名簿を発刊した(株)サト社に依頼し、最新データをタックシールに印刷して、同窓会事務局に納入して貰う方式にしました。又、昨年度までの会報は三つ折りで皆様に送付していましたが、A4サイズの封筒に、そのまま会報と一般寄付の郵便払込取扱票を一緒に入れる方法にしました。宛先者不明で事務局に返送された場合には、中学校訪問等のPR活動に再利用する予定です。
旧職員の方には、総会の案内文書と一緒に会報を送付していましたが、今年度より同窓生と一緒にしました。定期総会の知らせは、第57号会報を持ちまして知らせに替えさせていただきます。又、同封しました一般寄付に於いてもご協力を宜しくお願いいたします。